

2019年度アルミ建材需要予測

(単位:千トン)

年度 項目	2017年度		2018年度		2019年度	
	実績	前年比	見込	前年比	予測	前年比
木造用 (1)	108	▲ 3.5%	106	▲ 2.1%	102	▲ 3.8%
ビル用 (2)	93	▲ 3.0%	97	4.4%	95	▲ 1.4%
アルミサッシ計 (1)+(2)=(3)	201	▲ 3.3%	203	0.9%	197	▲ 2.7%
ドア (4)	24	▲ 0.0%	23	▲ 2.0%	23	▲ 2.6%
エクステリア (5)	110	0.7%	117	6.1%	114	▲ 3.0%
アルミ製室内建具 (6)	36	▲ 0.1%	36	▲ 0.6%	35	▲ 1.7%
アルミ建材計 (3)(4)(5)(6)	371	▲ 1.6%	379	2.1%	369	▲ 2.7%

コメント

建築着工 2018年実績および年度見込み

1. 木造住宅用サッシ関係指標

1). 2018年1月～12月実績

新設住宅着工戸数は、暦年で942千戸(前年比▲2.3%)となりました。

新設住宅着工	942千戸	前年比	▲2.3%
新設住宅着工	75,309千㎡	前年比	▲2.8%
木造住宅	539千戸	前年比	▲1.1%
非木造住宅	403千戸	前年比	▲3.9%
木造住宅	50,144千㎡	前年比	▲0.4%
非木造住宅	25,165千㎡	前年比	▲7.4%
持家	283千戸	前年比	▲0.4%
貸家	396千戸	前年比	▲5.5%
分譲	255千戸	前年比	+0.0%

2). 2018年度の見込み(4月～3月)

新築住宅着工戸数は、年度で941千戸(前年度比▲0.5%)と見込みました。

2. ビル用サッシ関係指標

1). 2018年1月～12月実績

全着工建築物の床面積は、暦年で131,149千㎡(前年比▲2.6%)となりました。

全着工	131,149千㎡	前年比	▲2.6%
非木造	75,693千㎡	前年比	▲3.6%
内非居住用	48,226千㎡	前年比	▲0.4%

2). 2018年度の見込み(4月～3月)

非木造用面積は、年度で76,100千㎡(前年度比▲1.6%)と見込みました。

アルミ建材需要 2019年度予測

1. 木造住宅用サッシ

2019年度住宅着工戸数は、消費税増税前の駆け込み需要はあるものの、増税後の反動減と貸家の減少により、全体では911千戸(前年度比▲3.2%)と見込みました。うち木造住宅は519千戸(前年度比▲3.4%)と想定しました。

また、木造住宅用サッシの材質別構成比はアルミ樹脂複合製と樹脂製が増加し、アルミ製の減少が続いており、一戸当たりのアルミ建材重量は減少傾向となっていることから、2019年度の木造住宅用サッシの需要を前年度比▲3.8%の102千トンと予測しました。

2. ビル用サッシ

2019年度の非木造分野は、東京オリンピック・パラリンピックに向けた首都圏における需要は一段落し、職人不足や建築コストの上昇などの厳しい環境が続いていることから、非木造床面積を75,200千㎡(前年度比▲1.2%)と見込みました。

よってビル用サッシ需要も、前年度比▲1.4%の95千トンと見込みました。以上のことから、アルミ建材需要全体では、前年度比▲2.7%の369千トンと予測しました。